

美しい箱根を守ろう

第41回美化大会

8月8日(金)温泉小学校で開催した第41回美化大会には、地元の自治会、婦人会、小学生、箱根みどりの少年団、箱根町たばこ販売促進協議会、町観光美化パトロール隊など約400人の方が参加しました。

当日は、日ごころ観光美化に功績のあった団体と個人の方々に感謝状が、また、ごみの減量化や再利用に貢献された団体に表彰状が、さらに観光美化・自然愛護標語、作文、ポスターコンクールで一等に入賞した児童生徒に賞状と盾が、それぞれ町長から授与されました。

その後、来賓の祝辞に続き、観光美化・自然愛護作文コンクール一等入賞者を代表して、湯本中学校2年生金指操さんが「箱根の自然」を朗読しました。



に町内の自治会をはじめ、各種団体の皆さんが、清掃作業を行いました。

＜受賞された方々＞(敬称略)
 「箱根を大切に美しくする」貢献者表彰(2団体1個人)
 団体
 大平台喜楽会
 大平台花と緑の愛好会
 個人
 富永美千子
 ごみ減量貢献表彰(2団体)
 宮ノ下自治会
 箱根町母子福祉会大平台支部

観光美化・自然愛護 標語、作文 ポスターコンクール 入賞者決まる

今年で34回目を迎えたこのコンクールには、町内の小・中学校11校から、標語の部に65点、作文の部に844点、ポスターの部に981点の応募があり、厳正な審査の結果、次のとおり各学年別の1等入賞者が決まりました。

標語の部 1等作品

「小さな手、
大きな手、
みんなでももろう、
はこねのしぜん」

函嶺百合学園小学校1年
大西すみれさん



箱根明星中学校3年
鎌倉由莉さん
(啓発用ポスターに採用)

区分	標語、作文の部		ポスターの部		
	学年	氏名	学校名	氏名	学校名
小学	1年	大西すみれ	函嶺百合学園小学校	藤堂真夕姫	函嶺百合学園小学校
	2年	古川 洸	湯本小学校	徳門 瞳	恵明学園小学校
	3年	内田恵理子	函嶺百合学園小学校	勝俣康平	仙石原小学校
	4年	小林世志喜	宮城野小学校	末吉沙樹	宮城野小学校
	5年	吉田桃子	函嶺百合学園小学校	大久保絵子	函嶺百合学園小学校
	6年	松島加奈	箱根小学校	箕輪さくら	函嶺百合学園小学校
中学	1年	栗本充彦	仙石原中学校	勝俣美里	函嶺百合学園中学校
	2年	金指 操	湯本中学校	高杉怜美	箱根明星中学校
	3年	星 央美	仙石原中学校	鎌倉由莉	箱根明星中学校

注：標語の部は小学校1年生が対象です。

美化大会朗読作品 「箱根の自然」

湯本中学校2年 金指 操



私は小学校六年生頃から「こどもエコクラブ」に入っています。このクラブは、小学生から中学生まで、幅広い学年と一緒に自然について考えていくクラブです。幅広い学年がいると、私が思ってもみなかった答えが返ってきてとても勉強になります。

私がこのクラブに入ろうと思ったきっかけは、今の箱根の自然がなくなってしまうのではないかと、この川は、駅前などにあるお店などの洗剤や油な

然が知りたかったからでした。このクラブの活動内容は、「早川の水生昆虫観察会」や、「芦ノ湖にカモを訪ねる会」など、この他にもたくさん楽しい事がたくさんあります。どれも箱根の自然に関わっている事ばかりです。

私がこの会に入ってきた一番「箱根の自然」について考えさせられたのが、「早川の水生昆虫会」でした。この会には三回目になりました。一回目と二回目は湯本にある早川で行いました。これは、川の中に入って中にいる虫を殺さないように捕まえて、講師の方に見せて虫の種類や名前、どんな川にいるかを説明してもらいました。川は、駅前などの総合学習で「湯本の自然」に

ついで、調べていました。特に私はイノシシに興味を持ったのでイノシシの事をおもに調べました。

イノシシは最近、人間の周りをうろつくようになりました。そうすると人間達はイノシシを殺そうとします。私はそこでちょっとだけ首をかしげてしまいました。よく考えてみてください。前は、たまにしか出ていなかったのに、今は、よく見たり、聞いたりしています。どうしてでしょうか。たぶんイノシシだっ

うとしている」と強く感じました。本当は自然に人間があわせなければならぬのに、私がエコクラブや、総合学習をやっているから、このような今の箱根の自然の状況は何も分かっていなかったと思います。しかし、私のような活動などをやっていない人達は、今の箱根の自然の事は分からないと思います。観光客の方達も、「こんなにきれいなんだから少しくらい捨てても」とポイ捨てしていき方もあると思います。私達はポスターなどを書いて、やめてくれるよう、呼びかけています。ポスターに目を向けてない方もいると思うのです。そういう人達には何ができるのでしようか。たぶん何もできないと思います。けれどポイ捨てしたゴミは、誰でも拾えます。なので私は、気づいたら時々拾うようにしています。私だけでは、沢山の人がやったら、箱根はもっときれいになると思います。私達人間のためだけではなく、他に住んでいる生き物達のためにもきれいにしなければダメなのです。今はあまりできないけれど、「気づいたら拾う」がいつかあたりまえのように出来たら、本来の箱根の自然は、いつか見えると思います。